

地方創生に関する特別委員会会議記録（概要）

平成28年8月30日（火）

開 会（午後4時10分）

（委員長あいさつ）

【議 事】

（1）COOL JAPAN FOREST構想について

中村委員長

本日は、これまでに引き続き、COOL JAPAN FOREST構想について協議いたします。

まず、お手元に正副委員長案として作成させていただいた提言案を配付させていただきましたので、読み上げます。

COOL JAPAN FOREST構想に関する提言（第一次）。

地方創生に関する特別委員会。当委員会は、主に市東部地域で展開されているCOOL JAPAN FOREST構想を調査・研究するため、現地視察や地元自治会との懇談会を行うなど、計7回の委員会を開催した。この成果を踏まえ、下記のとおり提言する。記。1、民間事業者と所沢市が行う事業や責任を明確化すること。2、ところざわサクラタウン周辺の道路をはじめ、旧所沢コンポストセンター跡地の活用、東所沢公園の整備、電線地中化などについて早期に具体的な計画を示すこと。3、ふるさと納税の活用を検討すること。4、予算・決算審査時において当構想に関する費用をわかりやすく明示すること。5、地域住民

に対し丁寧かつ真摯な説明会を開催すること。以上。

今回、こういった形で提言をまとめた理由について説明します。まず、ある程度シンプルにしていこうというコンセプトでまとめました。特に、記以下についてはたくさんの意見がありましたが、あまりにも多いと提言するという意味でのピントがぼやけてしまうため、集約させていただきました。また、集約だけでなく数も絞りましたが、2会派から意見をいただいたものについて、主に挙げています。1つの会派だけではなく、いろいろな会派からこういう話があるというところについて、記以下に挙げたという形です。主にそのようなことでまとめさせていただいたのですが、これをたたき台にして、委員間で議論をお願いします。

城下委員

日本共産党としても、会派として提言案を出したが、それについてはこの5つの中のどの部分にあたるのか。

中村委員長

1です。

粕谷委員

そもそも地方創生に関する特別委員会を議員提出議案により設置した主旨というか意味は、代表者会議でCOOL JAPAN FORES T構想という形を所沢市の方でやっていく中で、議会としてもその辺の情報共有をしていこうというものだと思う。提言という形で、何かしらやっていこうということはわかるし、かなりシンプルにやっていただい

たのはありがたいと思うが、もう少しシンプルにできないか。例えば、地域住民に対して丁寧かつ真摯な説明会という部分はこちらからもお願いしたいところだが、COOL JAPAN FOREST構想に載っているものについては、それを確実に進めてほしいとか、そういった形でまとめてはどうか。

平井委員 COOL JAPAN FOREST構想に載っているものとは、具体的に何を差しているのか。

粕谷委員 例えば2は構想に載っているのではないか。

平井委員 載っているので、これはやらないでもよいということか。

松本委員 書き方の問題か。

中村委員長 例えば、書き方としてこう書いた方がよいというものがあれば議論していただきたい。このようにまとめた理由は、2については、その部分に関して具体的な計画を示してほしいということで、会派によっては東所沢公園のことだけを書いていたたり、電線地中化だけを書いていたたり、道路だけを書いていたので、一つひとつを項目として取り上げられないと思い、同じ意図で出てきたものについては2の中で少し多めに書いた。

委員の意見を集約した結果こうなった部分で、こうあるべきだというのがあれば、もっと議論していただきたい。

粕谷委員

引っかかるのだが、そもそも代表者会議の中で、情報共有をしていくという形でスタートしている。執行部やいろいろなところに提言するという形ではなかったと思う。

島田委員

特別委員会が設置された後、COOL JAPAN FOREST構想だけではなく、この間、越阪部委員からもいろいろとお話があったが、今回については第1回目の提言というような形で、実際に我々も現地調査へ行き、地域住民の方と話をさせていただいた中で、今回こういう形になったのだと思う。十分集約されているので、私はよいのではないかなと思う。これ以上簡略化しても、わかりにくくなると思う。

城下委員

立ち上げについては代表者会議で確認をして特別委員会ができたが、委員会の独自性ということで私たちも地域に入り説明を聞く中で、気が付くこともある。そういう意味では、その結果として、正副委員長の努力で形になったのが今日のこの提案だと思う。だから逆に、粕谷委員から、この辺はこういう形ではどうかというものを出した方がわかりやすいと思う。

粕谷委員

私は、1から4までに関してはいろいろとあるにして、もCOOL JAPAN FOREST構想について確実に進めてもらいたいとか、推進してもらいたいというようなところで一言にしてもよいと思う。

大石委員

代表者会議で決まったというのは、設置する目的の中で調査・研究していくということはもちろんのこととしてのあの文章だったと思う。それは議会として調査・研究して意見を言うのは当然のことで、それをまとめて今やっているとおりに進めてくださいと言うだけでは、そもそも論として特別委員会を設置した目的がないと思う。きちんとまとめて意見を言っていくべきだと私は思います。

粕谷委員

いろいろやってきた中でそれはやっていってもよいと思う。ただ、やり方として、具体的な形でやらなくてもよいのではないかと思う。

平井委員

当時の代表者の中では、COOL JAPANの構想は全くわからないので、議会としてチェック機能を果たせなくなるという問題提起があった。確かに全然わからないということで、もっと議会として関わっていかないとどうなるかわからないということで、議会として歯止めというかチェックするためにも特別委員会を作ってよくわかるようにした方がよいというのが最初の提案なので、情報公開だけではないと思う。その結果、先ほど大石委員が言ったように、特別委員会が設置されてここ

まで来たのだから、提言しないととなると今までの委員会の調査・審査は何だったのかということになる。もし表現が悪いのであれば、粕谷委員の方からこれはこうしてくれと言った方がよいと思う。ただ、進めてくれということだけでなく、そのために頑張っているのだから、進めるにあたってもしっかりと伝えてほしいと思う。委員会としても議会としても、止めるとは言っていない。進めることに対しては文句を言わない。しかし民間のやることと地方自治体がやることの責任をすみ分けよう、歯止めをかけようというぐらいなので、こんなにたくさん書かなくてもよいと思うが、委員がよいというのならばよいと思っている。

杉田委員

私も7回の委員会を重ねてきた中で、前回提言としてまとめていこうというふうになったことだし、まず提言を出すことはよいと思っている。文面について言えば、聞くところによると、もっと具体的に出してきた会派も随分あったようで、ある意味、簡略化しているものと思っている。2は少し具体性があるかと思うが、委員会で随分出たところだと思うので、ちょうどよいぐらいになったと思う。

中村委員長

補足をさせていただきますが、記の上の部分というのは、今回この地方創生に関する特別委員会の設置について、議案として出てきた文章、ほぼそのままです。議案では、本市議会は本市東部地域で展開されるCOOL JAPAN FOREST構想を中心に調査・研究するとともに

に、情報共有を図るため委員会条例云々の規定により、特別委員会を設置するとなっています。だから、そこに、委員会の議論を聞いていて、大いなる期待と不安という部分もあって、それをいろいろと織り交ぜてしまうと、なかなか集約が難しいということがあり、ある種客観的な文章で書かせていただいたというのが記以上のものです。それから今話題になっている2については、正直、素案を書いている時も、実際にCOOL JAPAN FOREST構想の中に書いてあることについて挙げても仕方ないのではないかと悩みました。悩みながらも、とりわけ各会派の提案の中でご要望があったところだけを無理に入れ込んだのが、道路、旧所沢コンポストセンター跡地、東所沢公園、それから電線地中化でした。会派からの意見を集約する中でそれを明示させました。3、4については、また新たな論点というところもでもあるので、これはこれでよいと思っています。5はまさに懇談会をやった成果の1つとして挙げなければいけないといったところでまとめさせていただきました。

平井委員

ふるさと納税もどこかに入れ込めないか。例えば、4の予算・決算審査時においてのところ、また、ふるさと納税の活用を検討する、続けられれば1つ集約され、短くもなる。

中村委員長

4についてもかなり迷いました。どういうふうに予算・決算時において構想に関する費用を説明してもらいたいかということがありますが、

それはなかなかすみ分けができないところが当然あると思います。この構想があるからやったことでもあるし、この構想プラスこういった効果があるからやるということもあつたらうから、それはある種執行部の裁量の中でこれを守っていただきたいということまでしか言えないと思つた。あとは、全員協議会を随時開催すること、のようなものもよいと思つたのですが、なぜCOOL JAPAN FOREST構想だけなのかという話にもなってしまうので、これが精一杯でした。5の丁寧かつ真摯というのは、まさに会派の中から案としてあつた部分についてそのまま引用させていただいたというところではあります。

吉村委員

括弧書きで第一次と入っているが、当然第二次、第三次があるという予告になるのか。仮に第二次が出ないということも想定されるのか。第一次と入っていてもよいと思うが、今、粕谷委員が心配しているような方向に委員会がシフトしていくと困るという心配が、第二次、第三次にまで、かなり具体的に細かなところまで突っ込んでいくということも想定される。

平井委員

これを直したら第二次ということではないのか。

中村委員長

それはこのタイミングでということ想定していたが、皆さんの議論の中でどういうふうにするか。

吉村委員 調査・研究ということについて、決して提言を出すところまでは予定していないというわけではない。粕谷委員も提言自体は反対ではないのか。

粕谷委員 調査・研究し、情報共有を図るために設置するとなっている。ただ、委員会をやってきた中で、多少はこちらとしても成果として何か出してもよいだろうと思っているが、そんなに具体的に出さなくてもよいと思う。特に構想に載っている1、2は、KADOKAWAがやることと市がやることを区別してということも書いてある。

城下委員 しかし、審議する中で、明らかになったこともあるのではないかと。

大石委員 我々が調査・研究として市民の声も聞いた中で、こういった項目は声が大きかったと思う。それを改めて書いてあるといっても、それをきちんと議会として受けとめて執行部に対して、このところは特に強く言っていくということは、我々議会の仕事としてよいのではないかと。そうでないと、二元代表制で我々が調査・研究している意味がないと思う。

吉村委員 調査・研究が目的だったが、研究してどうするのかということもある。調査・研究することが目的で、調査・研究するだけで終わる委員会なの

かということである。やはり少し委員会としての考え方なり、議会としての表現とか、そういうのは提言という形が一番よいと思う。もし、多少手を加えたいというのであればもう少し議論するもの構わないが。あまり気になるようだったら、一度持ち帰って会派で相談してきたい。

中村委員長

まず、提言を出す方向については、それでよろしいですか。

(委員了承)

次に、今論点として出ている第一次という部分をどうするか。記から上の部分の書き方。記以下の部分だが、具体的な修正というものがあればそういった話をさせていただきたいと思います。いろいろな意見が出るだけではまとまらないと思いますので、ここはこうしてほしいというものがあれば一つひとつ詰めていきたいと思いますが、よろしいですか。

(委員了承)

そのために今休憩した方がよいのかどうか、いかがですか。休憩して話が少し動くのであれば休憩を取ります。一旦休憩とすることでよろしいですか。(委員了承)

提言を出すということは決めましたので、再開後は、どういうふうに直してほしいという文案をお持ちください。そこで議論し、具体的な結論を出したいと思います。

休 憩 (午後4時31分)

(休憩中に各会派の意見をまとめた)

再 開 (午後4時55分)

中村委員長

再開いたします。

休憩中、会派の方で持ち帰っていただいたが、正副委員長案をたたき台として、意見があればお願いします。

大石委員

私はこのままで大丈夫です。

吉村委員

1、3、4、5はこのままでよい。2もあえて会派の考え方として言うならば、意見が出たのは、文章で言うと、「ところざわサクラタウン(仮称)」周辺の環境整備及び文化コンプレックスの今後の方向性について情報公開に努めること、という表現ではどうかということ。特別委員会の1つの大きな目的が調査・研究だが、まさにこういったことを一つひとつチェックしながら事業を進めていくというのが特別委員会の1つの目的ではないかということ踏まえて、11月にハード面の設計図とか出てくるかもしれないが、それに付随したソフト面も出てこないとう周辺整備とかそういうことも具体的に作れない。だからそういう情報をしっかり出してもらって、それで議会もそれをきちんとチェックしていくということが大事ではないかということである。

杉田委員

元の委員長案でよい。

松本委員

自民党は、記の前で、もう1つ提案をする。調査・研究という部分だが、調査・研究するとともに、情報共有を図るためとしていただきたい。それから今議論になっている2については、具体的にするかしないかについて正副委員長での調整で一番苦労したことだった。したがって、正副委員長の結論としては、具体的にある程度項目を挙げたほうがよいということになった。こうした背景を申し上げたうえで、早期を消してもらいたい。

平井委員

1は事業の責任を明確化するとしてほしい。

中村委員長

整理します。まず、第一次についてはどうしますか。

平井委員

入れなくてもよいのではないか。

大石委員

入れるべきだと思う。長く続くという話だったから。

中村委員長

入れておいてよろしいですか。（委員了承）

当委員会は以下の部分については、省いた部分がありましたが、委員会設置のときの議案の文章に戻すという考え方で、当委員会は、本市東部地域で展開されているCOOL JAPAN FOREST構想を調査・研究するとともに、情報共有を図るため、と加えさせていただきます。続

けて、現地視察や地元自治会との懇談会を行うなど、計7回の委員会を開催した。この成果を踏まえ、下記のとおり提言する、という文面によろしいですか。（委員了承）

1は、民間事業者と所沢市が行う事業の責任を明確化すること、によろしいですか。

吉村委員

事業や、の方がよいと思う。事業そのものの内容を明確にしてほしいということか。

城下委員

元の文面は事業の明確化と、責任の2つということか。

中村委員長

では、事業や責任を明確化するによろしいですか。（委員了承）

2については2つの意見が出ています。公明党案をもう一度読み上げてもらえますか。

吉村委員

「ところざわサクラタウン（仮称）」周辺の環境整備及び文化コンプレックスの今後の方向性について情報公開に努めること。

中村委員長

気になるのは、提言の先が市というよりも、ある種矢印がKADOKAWAの方に向くようになりますが、そこの違いについて何かありますか。

城下委員

サクラタウン周辺整備というのが入っているから、そこは市も包含される。だからそれはわかると思う。

平井委員

これでよいと思う。

中村委員長

おそらく、早期に具体的な計画を示す、あるいは自民党案の具体的な計画を示すというものと情報公開に努めるというものとは、ニュアンスとしてはさほど変わらないと思いますが、その部分もよろしいですか。

では、公明党の案のとおりにしたいと思いますが、よろしいですか。

(委員了承)

4、5については、そのままでよろしいですか。(委員了承)

では、提言を読み上げます。

【提 言】

COOL JAPAN FOREST構想に関する提言(第一次)

地方創生に関する特別委員会

当委員会は、本市東部地域で展開されているCOOL JAPAN FOREST構想を調査・研究するとともに、情報共有を図るため、現地視察や地元自治会との懇談会を行うなど、計7回の委員会を開催した。この成

果を踏まえ、下記のとおり提言する。

記

1. 民間事業者と所沢市が行う事業や責任を明確化すること。
2. 「ところざわサクラタウン（仮称）」周辺の環境整備及び文化コンプレックスの今後の方向性について情報公開に努めること。
3. ふるさと納税の活用を検討すること。
4. 予算・決算審査時において、同構想に関連する費用をわかりやすく明示すること。
5. 地域住民に対し、丁寧かつ真摯な説明会を開催すること。

以 上

この提言を9月定例会の委員長報告の中で行うことでよろしいですか。

(委員了承)

散 会 (午後 5 時 4 分)